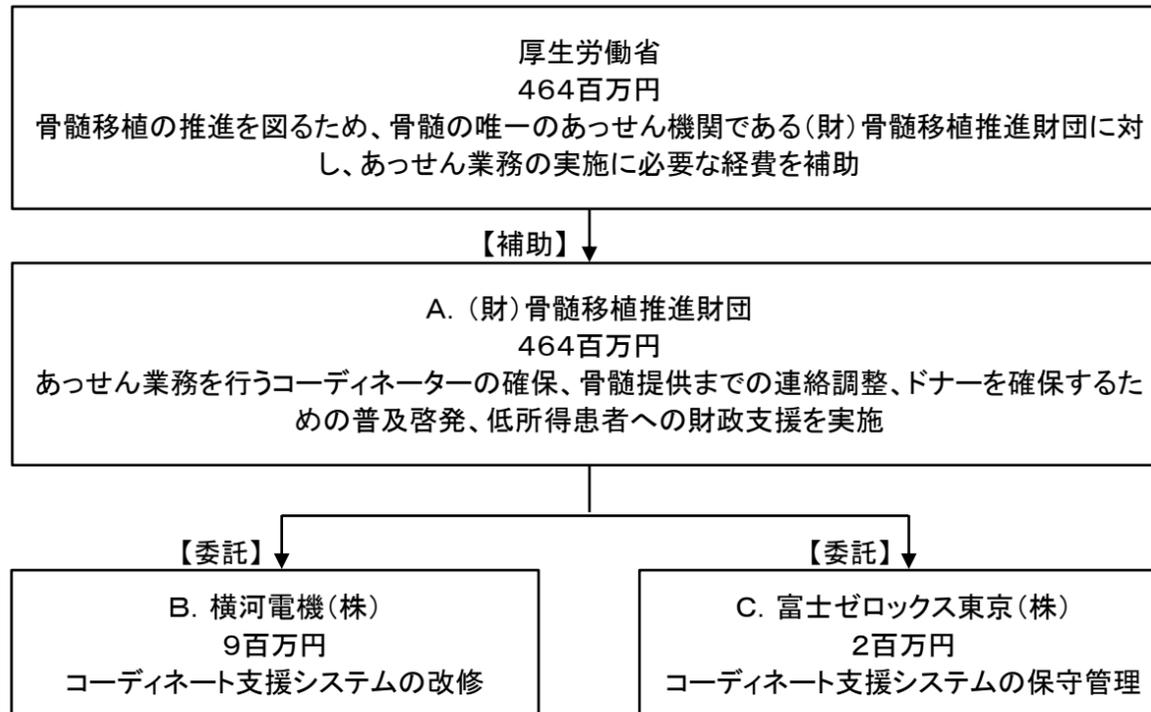


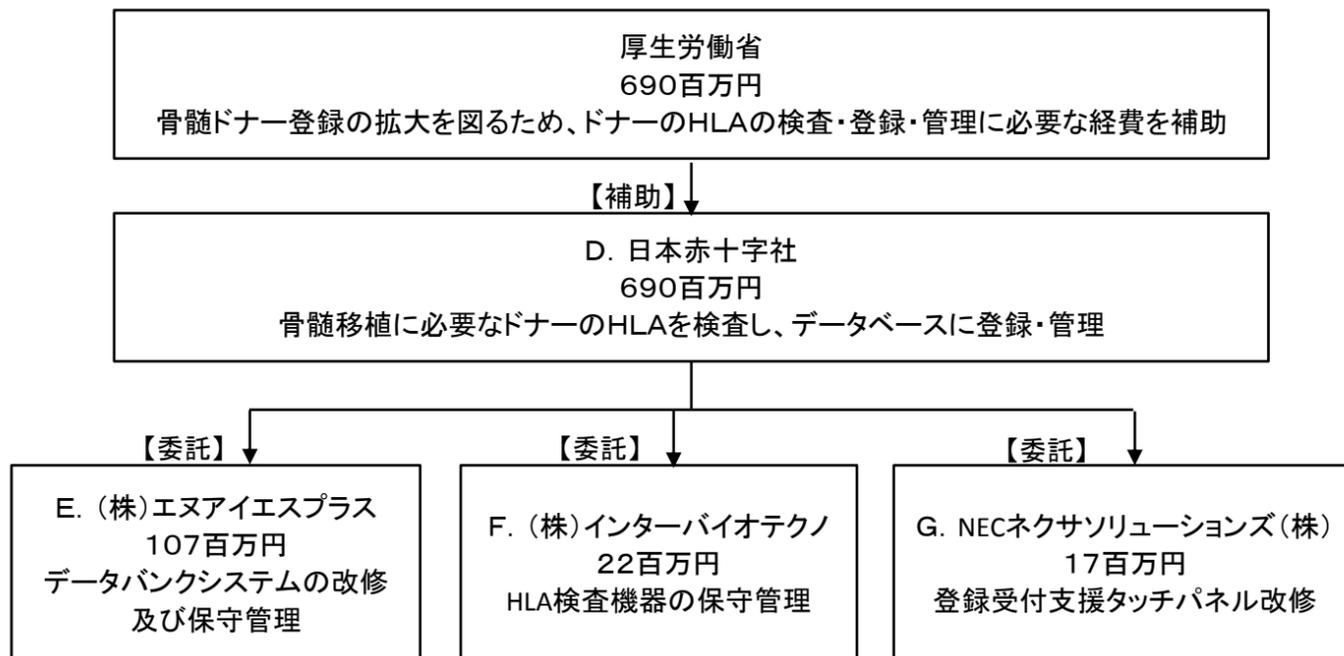
行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	移植対策(造血幹細胞)事業	事業開始年度	平成15年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	疾病対策課臓器移植対策室	室長 辺見 聡		
会計区分	一般会計	上位政策	移植対策事業			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	・「骨髄バンク事業の推進について」(平成3年12月18日 健医発第1462号 厚生省保健医療局長通知) ・「骨髄データセンター業務の協力依頼について」(平成3年12月2日 健医発第1388号 厚生省保健医療局長通知) ・「平成11年度における臍帯血移植推進事業について」(平成11年6月2日 健医発第841の2号 厚生省保健医療局長通知) ・骨髄移植対策事業の実施について ・さい帯血移植対策事業の実施について			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①骨髄移植対策事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植を推進するため、骨髄移植のあっせん業務を行う際の連絡調整者(コーディネーター)の確保を図るとともに、骨髄提供希望者(ドナー)を確保するための普及啓発を行い、骨髄バンク事業の安定的な運営を図る。 ②骨髄データバンク登録事業 骨髄移植に必要なドナーのHLA(白血球の型)の検査・登録等に必要な経費を助成することにより、ドナー登録の拡大を図る。 ③さい帯血移植対策事業 白血病等の治療に有効なさい帯血移植を推進するため、安全なさい帯血移植実施体制の整備や、HLAの検査・登録等に必要な経費を助成することにより、さい帯血バンク事業の充実を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙1のとおり					
実施状況	別紙1のとおり					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,797	1,808	1,763	1,733	1,773
	執行額	1,797	1,808	1,763		
	執行率	100.0	100.0	100.0		
	総事業費(執行ベース)	2,261	2,367	2,792		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握。				
	見直しの余地	公益法人等への国庫補助金支出の徹底的な見直しの観点より、事業及び支出額の見直しを行い、既に22年度予算においては、骨髄ドナーのHLA検査経費、コーディネーター等の研修経費、各種会議費、普及啓発経費等の縮減を図ったところである。				
予算・監視の効率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減) 骨髄バンクデータ登録事業や骨髄移植対策事業について、予算効率化の観点から、事業内容を検証のうえ優先順位を付けるなど縮減を図ること。					
補記	骨髄移植及びさい帯血移植については、「患者」と「医療機関」に加え、無償で骨髄又はさい帯血を提供する「提供者」があってはじめて成立する医療であり、移植機会の公平性を確保しつつ、効果的・効率的な移植を行うためには、医学的見地からの統一した基準の下で、第三者機関があっせんを行うことが必要不可欠である。 補助事業では、骨髄移植及びさい帯血移植にかかる経費のうち、HLAの検査・登録・管理に係る経費やコーディネーターの人件費、ドナー確保のための普及啓発費、低所得患者への財政支援経費等を補助している。各事業とも、患者の治療のため不可欠であるが、医療保険の対象とならない経費について患者の負担となることを避けるために、国庫で補助する必要がある。					

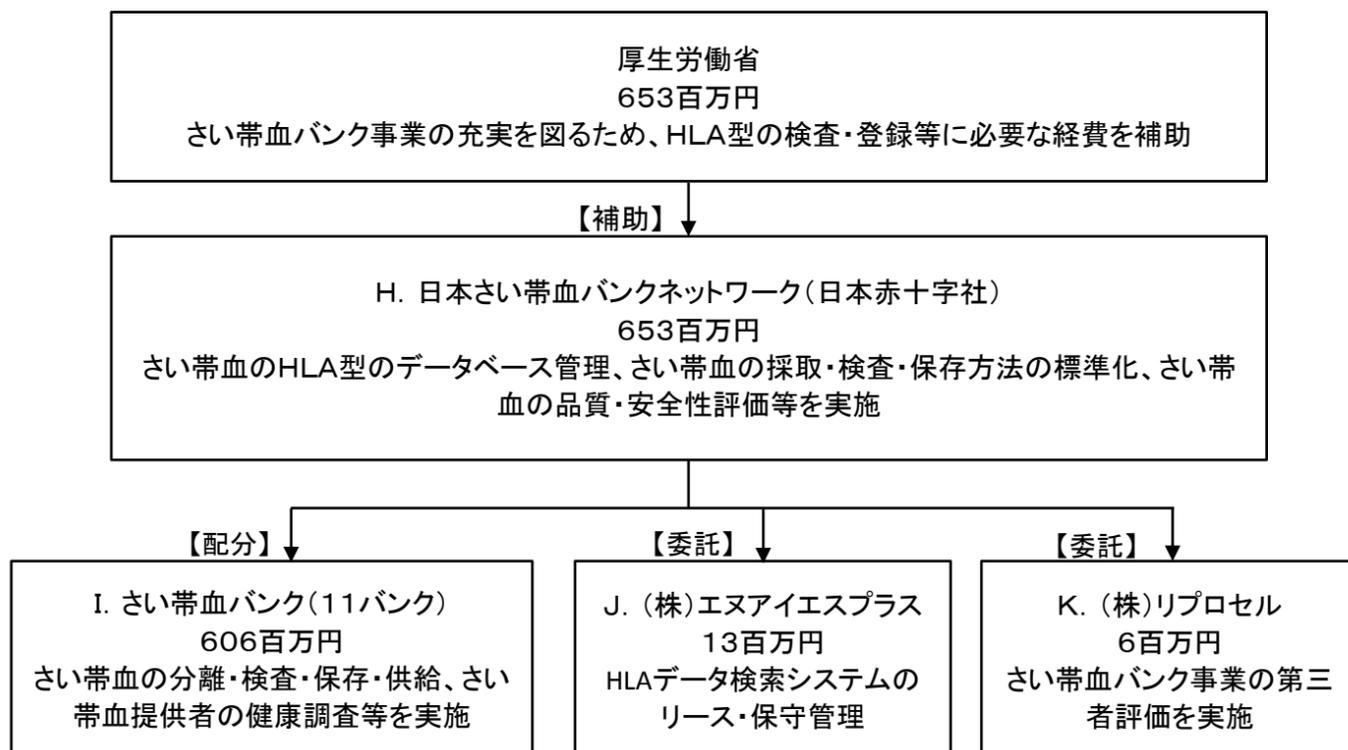
① 骨髄移植対策事業



② 骨髄データバンク登録事業



③ さい帯血移植対策事業



(※金額は20年度実績)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 用途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A. (財) 骨髓移植推進財団			F. (株) インターバイオテクノ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	コーディネーター等あっせん業務 従事者の給与	143	機器保守費	HLA検査機器の保守管理	22
通信運搬費	郵送料、電話代	60	計		22
賃金	一般コーディネーター賃金	56	G. NECネクサソリューションズ		
患者負担金 免除費	低所得患者の負担金免除	45	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	コーディネート活動、広報活動、研 修会出席	39	システム改修費	登録受付支援タッチパネルの改修	17
諸謝金	調整医師・最終同意立会弁護士・ 研修会講師・説明員への謝金	33	計		17
借料	コーディネート支援システムリース 料、事務機器リース料、ドナー登 録会会場費	29	H. 日本さい帯血バンクネットワーク		
印刷製本費	パンフレット、リーフレット、ポス ター、広報誌、ドナーへの説明書	24	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	広報資材制作、インターネット業務	17	推進事業費	さい帯血バンクに対する検査・保 存等経費の配分	606
委託費	横河電機(株)	9	人件費	事務職員給与	15
消耗品費	事務用品	4	外部委託	(株)エヌアイエスプラス	13
委託費	富士ゼロックス東京(株)	2	旅費	各種委員会の開催	8
その他	会議費、データバックアップ保管 料	1	外部委託	(株)リプロセル	6
計		464	印刷製本費	広報誌、リーフレット	2
B. 横河電機(株)			その他	会議費、消耗品費	2
費目	用途	金額 (百万円)	計		653
システム費	コーディネート支援システムの改修	9	I. 東京臍帯血バンク		
計		9	費目	用途	金額 (百万円)
C. 富士ゼロックス東京(株)			人件費	さい帯血管理従事者給与	65
費目	用途	金額 (百万円)	検査費	HLA検査費	44
システム費	コーディネート支援システムの保守管理	2	雑役務費	検査機器の保守点検費	10
計		2	諸謝金	採取協力費	2
D. 日本赤十字社			旅費	採取施設訪問、採取技術研修出席	2
費目	用途	金額 (百万円)	借料	さい帯血運搬用車両リース料	1
人件費	検査技師・事務職員給与	248	その他	通信運搬費、消耗品費、印刷製本 費、会議費	2
検査費	HLA検査費	137	計		126
委託費	(株)エヌアイエスプラス	107	J. (株)エヌアイエスプラス		
使用料	HLA検査機器リース料、データバ ンクシステムリース料	107	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	検体バッグ、事務用品	24	情報管理費	HLAデータ検索システムのリース・ 保守管理	13
委託費	(株)インターバイオテクノ	22	計		13
通信運搬費	郵送料、通信回線費、検体輸送費	22	K. (株)リプロセル		
委託費	NECネクサソリューションズ	17	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	研修会出席、会議出席	3	第三者外部 評価委託費	さい帯血バンク事業の第三者外部 評価の実施	6
印刷製本費	封筒、台紙	1	計		6
その他	事務用備品	2	L.		
計		690	費目	用途	金額 (百万円)
E. (株)エヌアイエスプラス					
費目	用途	金額 (百万円)			
システム改修費	データバンクシステムの改修及び保守管理	107			
計		107	計		0

【事業概要】

①骨髄移植対策事業

事業概要	<p>1. 骨髄のあっせんに関する事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植を公平に実施するため、第三者機関である骨髄移植推進財団があっせん機関として骨髄移植に係る連絡調整を行う(国際的なあっせんを含む)。また、骨髄提供登録者(ドナー)の登録内容の定期的更新等を行う。</p> <p>2. 骨髄移植に係る普及啓発に関する事業 一人でも多くの患者に骨髄移植の機会を提供できるよう、骨髄提供希望者を確保するための普及啓発事業、骨髄提供希望者への説明を行うボランティアに対する研修事業、骨髄提供登録会の開催及び低所得者の患者負担金免除事業を行う。</p> <p>補助率:定額(1/2・10/10)</p>
-------------	--

②骨髄データバンク登録事業

事業概要	<p>白血病等の患者に移植した骨髄がうまく機能するには、骨髄提供者と患者の間でHLA(白血球の型)を一致させる必要がある。HLAが一致する確率は数百から数万分の1であるため、HLAの適合率を高め、移植の機会を公平に確保するには、広く国民から骨髄提供希望者を募り、多くのHLAを登録し、患者への骨髄提供に結びつける必要がある。このため、本事業では、骨髄提供希望者のHLAを検査し、データバンクへの登録・管理を行っている。</p> <p>補助率:定額(10/10)</p>
-------------	--

③さい帯血移植対策事業

事業概要	<p>さい帯血移植は骨髄移植と同様に、白血病等の重い血液疾患に対して有効な治療法である。本事業では、無償提供されたさい帯血のHLAを検査し、データベースに登録・管理するとともに、さい帯血を-196℃の液体窒素中で凍結保存し、必要とする患者に供給している。一人でも多くの患者を救うため、より移植に適した細胞数の多いさい帯血を保存しつつ、安全なさい帯血移植実施体制の整備を行っている。</p> <p>補助率:定額(10/10)</p>
-------------	---

【実施状況】

①骨髄移植対策事業、②骨髄データバンク登録事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンクのドナー登録者数:357,378人(平成21年度末現在) ・骨髄バンクを介した骨髄移植実施数: 1,232例(平成21年度実績) 11,587例(21年度末までの累計)
-------------	---

③さい帯血移植対策事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・さい帯血公開数:32,793個(平成21年度末現在) ・さい帯血バンクを介したさい帯血移植実施数: 904例(平成21年度実績) 6,243例(平成21年度末までの累計)
-------------	---

さい帯血バンクの上位10者までの支出先

A. さい帯血バンク		
順位	支出先	支出額(単位:百万円)
1	東京臍帯血バンク	126
2	東海大学さい帯血バンク	101
3	京阪さい帯血バンク	80
4	東京都赤十字血液センター臍帯血バンク	80
5	兵庫さい帯血バンク	52
6	福岡県赤十字血液センターさい帯血バンク	40
7	北海道臍帯血バンク	31
8	中国四国臍帯血バンク	28
9	神奈川臍帯血バンク	28
10	東海臍帯血バンク	24